

授業科目名	研究ゼミナールⅠ	担当教員	◎青山美紀子、○千葉恵子、足立智孝、休波茂子、大野知代、岡本明美、志村千鶴子、長江弘子、久保幸代、栗栖千幸、榎本輝樹、川上裕子、松本幸枝、中島洋一、有家 香、鷗沢淳子、松谷典洋、下 睦子、吉野妙子、路 璐、山田菜美加、松丸直美、鈴木玲子、高橋玲子、新川実穂、堀 希好	科目ナンバリング NM498
必修	開講年次：4年前期	単位：1単位	授業形態：演習30時間	

### 【授業概要】

研究ゼミナールの主な目的は、学生の「研究論文」を推進していくに当たって遭遇する問題点や解決策を、学生グループと教員との対話を通じて意見交換を行う一方、基礎ゼミナールと同じ形式で専門科目の学修についての振り返りや対話や相互支援をグループで行う。研究ゼミナールは、3年次に看護研究コース中に始まり、4年次前期にまでに終了し、レポートを提出することが要求される。3年前期の「看護研究」において検討したテーマをもとに、ゼミの中で討議し、研究課題を明確にする。看護に関連した現象を選び、それに関する文献を広く読み、エビデンスを見出し、研究計画書の作成をする。また、研究における倫理的配慮について考える。

### 【授業目的・目標】

1. ゼミナールを通じて学生は教員との定期的な接点を持ち、小人数のグループの中で、自己の研究論文を進めていくに当たっての問題点や方法論について話し合う。
2. 研究疑問と研究課題を言語化する。
3. 研究計画書の作成を行う。
4. 研究における倫理的配慮について言語化する。

### 【履修条件】

「看護研究」を修得していること。

### 【授業計画】

- [01] 全体ガイダンス 看護研究と倫理 (青山・足立)
- [02] 担当領域オリエンテーション&担当領域・担当教員の指導による討論 ①
- [03] 担当領域・担当教員の指導による討論 ②
- [04] 担当領域・担当教員の指導による討論 ③
- [05] 担当領域・担当教員の指導による討論 ④
- [06] 担当領域・担当教員の指導による討論 ⑤
- [07] 担当領域・担当教員の指導による討論 ⑥
- [08] 担当領域・担当教員の指導による討論 ⑦
- [09] 担当領域・担当教員の指導による研究計画書の作成 ①
- [10] 担当領域・担当教員の指導による研究計画書の作成 ②
- [11] 担当領域・担当教員の指導による研究計画書の作成 ③
- [12] 担当領域・担当教員の指導による研究計画書の作成 ④
- [13] 担当領域：研究計画書の発表 ①
- [14] 担当領域：研究計画書の発表 ②
- [15] 研究ゼミナールⅡに向けた全体ガイダンス (青山)

### 【教科書】

坂下玲子、宮芝智子、小野博史(2016). 系統別看護学講座 別冊 看護研究, 医学書院.

### 【参考書】

大木秀一(2015). 看護研究・看護実践の質を高める文献レビューのきほん, 医歯薬出版.

### 【評価方法・評価基準】

研究計画書 50%、授業への参加態度 30%、発表 20%

### 【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：担当教員の指導を受けながら、自らの研究テーマを明確にし、研究計画書の作成をすすめる。

事後学習：担当教員からの指導の内容を吟味し、研究計画書の修正を行う。

### 【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅲ. 根拠に基づいた看護実践能力、Ⅳ. テクノロジーを効果的に活用する能力、Ⅷ. 生涯にわたり継続して専門性を向上させる能力と関連する。

### 【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

研究計画書を作成し、領域内で計画書の発表、ディスカッションを行い学びを深める。研究計画書は別途評価基準を示し、評価項目に沿って評価し、個人にフィードバックする。

### 【備考】

看護研究、研究ゼミナールⅡと関連が深い。特に、研究ゼミナールⅡで行う研究論文作成に向け、研究実施可能な研究計画書を完成できるよう、主体的に学習を進める。